



国際ロータリー第2840地区 第4分区分A

太田西ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

太田西ロータリークラブ
 会長 大塚 祐康
 幹事 川田 実穂
 広報委員会 斎藤 昌男

10月27日、太田西ロータリークラブの例会場である、ティアラグリーンパレスに於いて福田一良ガバナーをお迎えし、新田ロータリークラブ様との合同例会が行われました。

11時20分から懇談会、12時30分から例会、それに引き続き懇親会がございました。

懇談会では、福田ガバナーより両クラブへの質問があり、それに回答する形で進行されました。

例会は、通常道理の例会の中で、福田ガバナーに講話をいただきました。地区大会の御礼、懇談会での所感、国際協議会でのRI会長講話の感想やポリオ撲滅の話など頂きました。中でも、「変えることのできないものを受け入れるいさぎよさ」と「変えることのできるものを変える勇気」が必要と話されていました。変える事が出来ない物が無ければ、芯が歪んでしまうし、変える事が出来なければ活性化されない。ロータリーだけでなく、全てに対して言える事で、発展するための大切な事と思いました。

懇親会では、当クラブで推進している1人1情報を会員から、会員増強・ロータリー財団・米山記念奨学について各委員長から発表があり、福田ガバナーよりコメントをいただきました。

今回、初めての試みで合同例会・公式訪問でしたが、普段より交流の多いクラブ同士であり、スムーズに行えたと思います。また、他クラブの取り組みやカバナーのコメントも多く頂け、収穫の多い公式訪問となりました。

幹事 川田 実穂





国際ロータリー第2840地区 第4分区A

太田南ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

太田南ロータリークラブ
 会長 村木 一夫
 幹事 小暮 正男

平成 22 年 11 月 2 日（火）当クラブの例会場（太田ナウリゾートホテル）にて福田一良ガバナーの公式訪問を受けました。先ず、福田ガバナー、町田地区幹事、清水ガバナー補佐と会長、会長エレクト、幹事にてクラブの様子について懇談を行いました。ガバナーよりWCS活動や会員増強に積極的に活動している点が評価され、さらに、積極的に取り組む様ご指導頂きました。

続いて、例会において福田ガバナーよりレイ・クリングスミスRI会長のテーマ「地域を育み大陸をつなぐ」について、ロータリークラブ以外の人にロータリーの目的を説明すること、そしてロータリアン自身が自分たちの活動の意義を再確認し、地域に向かってロータリークラブを知らしめることが今年度の目標と講話を頂きました。また、姉妹クラブのソウル東湖ロータリークラブの李鐘根様が来日され、この記念すべき福田ガバナー公式訪問に出席して頂いた事、感謝いたします。福田ガバナーより、「楽しい例会、活力のある太田南ロータリークラブ」との講評を頂きました。記念写真をはさみ懇親会が行われ、会員増強、ロータリー財団、米山奨学会の各委員長より今年度の目標が達成出来るとの発表。また、クラブの目玉のWCSについて活動したことで得た素晴らしさをWCSを考える会長の発表、ロータリーの友の川柳の選者として昨年より活動している遠藤しげるさんの発表。町田地区幹事より年齢層のバランスの取れたクラブと評価されました。これからもユーモアとチームワークの太田南ロータリークラブらしく目標に向かって頑張りたいと思います。

福田ガバナー、町田地区幹事におかれましては有意義なお話ありがとうございました。感謝申し上げます。



福田ガバナーお迎え



福田ガバナー講話



公式訪問記念写真



国際ロータリー第2840地区 第4分区分A

新田ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

新田ロータリークラブ
 会長 片山 伊久郎
 幹事 稲田 信昌

2010年10月27日(水)、太田ティアラグリーンパレスにおいて、太田西ロータリークラブ・新田ロータリークラブ合同による福田ガバナー公式訪問が行われました。

例会前懇談会 11:20 ~ 12:00、クラブ例会 12:30 ~ 13:30、懇親会 13:45 ~ 14:45
 というスケジュールにて進められました。太田西RC・新田RC合同例会ということで、普段の例会とは違う新鮮な雰囲気の中、各クラブのそれぞれの様子がうかがえ大変有意義な時間となりました。

新田RCでは、交換留学生のその後はなかなか聞くことが出来ませんが、今回タイムリーに16~7年前に受け入れた交換留学生、ドイツのイエンス君来日の報告もすることが出来ました。同じ大学病院で同じくドクターのフィアンセを連れて来日し訪ねてきてくれたこと、帰国後も立派に活躍していること、そして以後このように交流が持てることは大変嬉しい事です、と荻原会員。

ガバナー講話では、今ロータリーは危機ではなく時代の変わり目、そのときに合った改革、変革が必要です!でも歴史伝統のあるクラブはその良き伝統を守る潔さ、変えることの出来ることを変える勇氣、その見分けが出来る知恵、挑戦こそが成功への鍵だと思います、と福田ガバナー。目からウロコの思いで拝聴いたしました。

弱小クラブならではの特徴ある、そして新田のカラーは残しつつ、時代に合わせ変えるべきは変え、質、量ともに向上して行けるよう頑張りたいと思います。





国際ロータリー第2840地区 第4分区分A

太田中央ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

太田中央ロータリークラブ

10月29日、RI第2840地区ガバナー・福田一良氏、地区幹事・町田庄吉氏、第4分区分Aガバナー補佐・清水親男氏をお迎えし、公式訪問例会が開催されました。



例会に先立ち、ガバナーとの懇談会があり、当クラブの会長、幹事、会長エレクト、地区出向役員を交えて、クラブ概要の説明、今年度のクラブ方針、クラブ運営上の問題点等について説明いたしました。地区内でも、もっとも平均年齢の若い、やや重厚感に欠けるクラブであり、若い会員の例会出席率のアップが目下のところの重要課題であること、会員増強

や退会防止に関する取り組み方、委員会活動の充実、やりがいをもてる積極的なクラブ活動への参加の勧誘……等々、クラブの抱える問題点について意見を伺いました。福田ガバナーからは、クラブ方針で掲げた「積極的に関わろう奉仕と親睦」を会員に周知し、自信を持って例会出席の要請が出来るようなクラブ運営を心がけるようにとのアドバイスをいただきました。クラブの活動の活性化が会員増強の第1歩であり、ロータリー活動に会員全員が参加していくことで、ロータリーの活性化が実現できるということでした。さらなる努力が必要と胆に命じました。約40分間の懇談会もあっという間に経過してしまい、例会場に場所を移し、会員一同も加わって「公式訪問例会」の開会となりました。

委員会・部会報告では1ヶ月前に特別委員会が中心となって行った「太田中央ロータリー杯・小学生バレーボール大会」の様子をビデオ上映、新世代へのロータリーPR活動に役立っているという報告をさせていただきました。

ガバナー講話では、RIテーマの解説、地区で掲げた数値目標実現への要請、また、五番目の奉仕部門・新世代奉仕が取り組んでいるライラ、青少年交換、インターアクト、ローターアクト等次世代のロータリーの牽引役としての人材育成プログラムの重要性について説明をいただきました。

その後の懇親会では、町田地区幹事様、清水ガバナー補佐からの講評をいただき、またロータリーに関する質議応答のフリートークが行われ、あっという間に予定時間となってしまいました。今後のクラブ運営に夢と希望を与えてくれた、充実の公式訪問となりました。

福田ガバナーはじめ、来訪いただいた皆様方には、本当にありがとうございました。

